# 平成25年1月期 第1四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

平成24年6月4日


上場会社名　株式会社 トーホー　　上場取引所　東 大 福
コード番号　8142　URL　http://www.to-ho.co.jp
代表者　(役職名) 代表取締役　(氏名) 上野　裕一
問合せ先責任者 (役職名) 取締役 財務部長　(氏名) 大野　兼只　TEL 078-845-2431

四半期報告書提出予定日　平成24年6月8日
配当支払開始予定日　―
四半期決算補足説明資料作成の有無　：　無
四半期決算説明会開催の有無　：　無

(百万円未満切捨て)

1. 平成25年1月期第1四半期の連結業績(平成24年2月1日～平成24年4月30日)

(1) 連結経営成績(累計)　(%表示は、対前年同四半期増減率)

| | 売上高 | | 営業利益 | | 経常利益 | | 四半期純利益 | |
|---|---|---|---|---|---|---|---|---|
| | 百万円 | % | 百万円 | % | 百万円 | % | 百万円 | % |
| 25年1月期第1四半期 | 48,177 | 8.3 | 615 | △19.0 | 688 | △17.1 | 337 | △9.7 |
| 24年1月期第1四半期 | 44,477 | 0.1 | 760 | △2.7 | 829 | △7.9 | 373 | △18.6 |

(注)包括利益　25年1月期第1四半期　395百万円　(62.2%)　24年1月期第1四半期　243百万円　(―%)

| | 1株当たり四半期純利益 | 潜在株式調整後1株当たり四半期純利益 |
|---|---|---|
| | 円 銭 | 円 銭 |
| 25年1月期第1四半期 | 6.21 | ― |
| 24年1月期第1四半期 | 6.91 | ― |

(2) 連結財政状態

| | 総資産 | 純資産 | 自己資本比率 |
|---|---|---|---|
| | 百万円 | 百万円 | % |
| 25年1月期第1四半期 | 82,641 | 21,948 | 26.5 |
| 24年1月期 | 75,071 | 21,808 | 28.9 |

(参考) 自己資本　25年1月期第1四半期　21,862百万円　24年1月期　21,729百万円

2. 配当の状況

| | 年間配当金 | | | | |
|---|---|---|---|---|---|
| | 第1四半期末 | 第2四半期末 | 第3四半期末 | 期末 | 合計 |
| | 円 銭 | 円 銭 | 円 銭 | 円 銭 | 円 銭 |
| 24年1月期 | ― | 5.00 | ― | 5.00 | 10.00 |
| 25年1月期 | ― | | | | |
| 25年1月期(予想) | | 5.00 | ― | 5.00 | 10.00 |

(注)直近に公表されている配当予想からの修正の有無　：　無

3. 平成25年1月期の連結業績予想(平成24年2月1日～平成25年1月31日)

(%表示は、通期は対前期、第2四半期(累計)は対前年同四半期増減率)

| | 売上高 | | 営業利益 | | 経常利益 | | 当期純利益 | | 1株当たり当期純利益 |
|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|
| | 百万円 | % | 百万円 | % | 百万円 | % | 百万円 | % | 円 銭 |
| 第2四半期(累計) | 97,000 | 7.7 | 1,500 | 13.4 | 1,600 | 10.6 | 700 | △11.4 | 12.88 |
| 通期 | 200,000 | 6.5 | 3,200 | 11.7 | 3,300 | 11.4 | 1,400 | 150.3 | 25.76 |

(注)直近に公表されている業績予想からの修正の有無　：　無

4. その他

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無
新規 ―社 (社名) 、 除外 ―社 (社名)

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示
① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
② ①以外の会計方針の変更 : 無
③ 会計上の見積りの変更 : 無
④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

| | | | | |
|---|---|---|---|---|
| ① 期末発行済株式数(自己株式を含む) | 25年1月期1Q | 55,060,834 株 | 24年1月期 | 55,060,834 株 |
| ② 期末自己株式数 | 25年1月期1Q | 701,110 株 | 24年1月期 | 749,960 株 |
| ③ 期中平均株式数(四半期累計) | 25年1月期1Q | 54,343,444 株 | 24年1月期1Q | 54,048,746 株 |

※四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外であり、この四半期決算短信の開示時点において、金融商品取引法に基づく四半期財務諸表のレビュー手続は終了しておりません。

※業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、四半期決算短信(添付資料)3ページ「連結業績予想に関する定性的情報」をご覧ください。

○添付資料の目次

１．当四半期決算に関する定性的情報 …… 2
（１）連結経営成績に関する定性的情報 …… 2
（２）連結財政状態に関する定性的情報 …… 3
（３）連結業績予想に関する定性的情報 …… 3
２．サマリー情報（その他）に関する事項 …… 3
（１）当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動 …… 3
（２）四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 …… 3
（３）会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示 …… 3
（４）追加情報 …… 3
３．四半期連結財務諸表 …… 4
（１）四半期連結貸借対照表 …… 4
（２）四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書 …… 6
四半期連結損益計算書
第１四半期連結累計期間 …… 6
四半期連結包括利益計算書
第１四半期連結累計期間 …… 7
（３）継続企業の前提に関する注記 …… 8
（４）セグメント情報等 …… 8
（５）株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記 …… 8

## １．当四半期決算に関する定性的情報

### （１）連結経営成績に関する定性的情報

当第１四半期連結累計期間（平成24年２月１日から平成24年４月30日まで）におけるわが国経済は、東日本大震災の復興需要や経済活動の改善等により、緩やかに持ち直しの兆しが見られたものの、欧州の債務問題や電力供給問題、原油価格の高騰等、予断を許さない状況で推移いたしました。

当社グループが属します業務用食品卸売業界、食品小売業界におきましても一部持ち直しの動きも見られましたが、デフレによる低価格志向や節約志向は根強く、引き続き厳しい経営環境となりました。

このような状況のもと、当社グループは、更なる「持続的成長と収益力の向上」を図るべく、当期を初年度とする第五次中期経営計画（３ヵ年計画）「ＩＭＰＡＣＴ　２０１４」（平成25年１月期（2012年度）～平成27年1月期（2014年度））を策定、「全国展開に向けた事業基盤の拡大」、「M＆A戦略の更なる加速」をはじめとする７つの重点施策を定め、計画の達成に向けて具体的な取組みをスタートいたしました。

当第１四半期連結累計期間は、ディストリビューター（業務用食品卸売）事業部門の堅調な推移に加え、前期及び当期に実施したM＆Aが寄与し、売上高は481億77百万円（前年同期比8.3%増）となりました。利益面に関しましては、営業利益は６億15百万円（同19.0%減）、経常利益は６億88百万円（同17.1%減）、四半期純利益は３億37百万円（同9.7%減）となりました。

セグメント別の概況については、次のとおりであります。

＜ディストリビューター事業部門＞

当事業部門におきましては、新規得意先の獲得、既存得意先の深耕を引き続き強化いたしました。当期はシェア拡大のための新たな取組みとして、各地域で多店舗展開されている得意先への一括物流提案を進めるとともに、重要得意先に対し個別に商品を提案するプライベート展示商談会を開始いたしました。

また、従来からの取組みとして、外食ビジネスをトータルにサポートするための総合展示商談会を全国６会場で、得意先の業態や地域ニーズに対してより細やかな提案を行うテーマ別展示商談会を約30会場でそれぞれ開催いたしました。

なお、全国展開に向けた新たな一歩として、４月に東北地区初出店となる仙台営業所（宮城県岩沼市）を開設いたしました。

さらに、２月に関東地区で産業給食向けの食材供給に高いノウハウをもつ河原食品㈱（川崎市川崎区）、３月に横浜市を中心に外食産業向けの青果卸売事業を営む㈱藤代商店（横浜市神奈川区）がそれぞれグループに加わり、関東地区のシェア拡大とともに得意先ニーズにお応えできる体制が一層充実いたしました。

また、北部九州地区の営業基盤強化のため北九州支店を３月に新築移転いたしました。

以上の結果、当事業部門の売上高は、317億87百万円（前年同期比14.9%増）、営業利益は２億75百万円（同75.1%増）となりました。

＜キャッシュアンドキャリー事業部門＞

当事業部門におきましては、業務用食品現金卸売店舗「Ａ－プライス」において、主要顧客となる中小の飲食店への提案を強化すべく、全店統一フェアとして「春の居酒屋メニューフェア」を実施するとともに、福岡地区で初めてのＡ－プライス主催の展示商談会を開催いたしました。さらに、食材にとどまらず厨房機器等、総合的な商品提案にも注力いたしました。なお、店舗につきましては、３月に飯塚店（福岡県飯塚市）を新築移転いたしました。

また当期は、前期８月に日食商事㈱（静岡市葵区）がグループに加わり売上拡大に寄与した一方、地中から高濃度放射線量が検出された㈱トーホー・パワーラークスの「パワーラークス世田谷店」が前期10月より休業を余儀なくされ、影響を受けております。

以上の結果、当事業部門の売上高は93億５百万円（前年同期比1.8%減）、営業利益は１億93百万円（同25.6%減）となりました。

＜食品スーパー事業部門＞

当事業部門におきましては、地域密着型の食品スーパーとして、お客様に毎日のおかずを提供できる店作りに引き続き注力いたしました。

商品面では、自社農園「㈱トーホーファーム」の新鮮野菜や近隣漁港から直送した鮮魚を販売する「鮮魚とれとれ市」等を開催し、価値ある商品の販売に努めました。また、隣接店舗の水産売場を統括する「水産センター」を３店舗に新たに設置し、水産部門の強化を図りました。

なお、４月に高砂店（兵庫県高砂市）の改装を実施し、事業の活性化を図るとともに、研修センター（神戸市垂水区、滝の茶屋店2階）を新たに立ち上げ、人材育成の強化を図りました。

以上の結果、当事業部門の売上高は、前期10月に浜の宮駅前店を閉店した影響等もあり、64億37百万円（前年同期比1.1%減）、営業利益は40百万円（同53.1%減）となりました。

＜その他事業部門＞

当事業部門におきましては、食の安心・安全へのニーズが高まる中、㈱キューサイ分析研究所との連携強化を図

りながら「品質管理代行サービス」をはじめ、「放射性物質検査サービス」「衛生環境改善サービス」等の販売に努めました。

また、今夏以降の節電対策として本社設備の節電対策工事を実施するとともに、節電意識の啓蒙のため「電力使用状況の見える化」にも取組みました。

以上の結果、当事業部門の売上高は、前期１月にシャンボール㈱（旧サンエバー㈱）のコーヒーハウス事業を譲渡した影響等により、６億47百万円（前年同期比23.1％減）、営業利益は１億５百万円（同58.8％減）となりました。

（２）連結財政状態に関する定性的情報

・総資産

当第１四半期連結会計期間末の総資産は、季節要因と新規連結子会社の増加により前連結会計年度末に比べ75億69百万円増加し、826億41百万円となりました。主に増加したのは受取手形及び売掛金33億97百万円、商品及び製品13億83百万円、のれんを含む無形固定資産９億22百万円です。

・負債

負債は、前連結会計年度末に比べ74億30百万円増加し、606億93百万円となりました。主に増加したのは支払手形及び買掛金38億47百万円、短期借入金及び長期借入金24億29百万円です。なお、当第１四半期連結会計期間末の借入金の総額は283億25百万円（前連結会計年度末258億95百万円）となりました。

・純資産

純資産は前連結会計年度末に比べ１億39百万円増加し、219億48百万円となりました。四半期純利益による増加３億37百万円、その他有価証券評価差額金55百万円の増加がある一方で、配当金の支払２億71百万円（前期末１株５円）がありました。自己資本比率については総資産の増加により、26.5％と前連結会計年度末の28.9％に比べ2.4ポイント低下いたしました。

（３）連結業績予想に関する定性的情報

平成25年１月期の連結業績の見通しにつきましては、平成24年3月12日発表の業績予想に変更はありません。

## ２．サマリー情報（その他）に関する事項

（１）当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動

該当事項はありません。

（２）四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

該当事項はありません。

（３）会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

該当事項はありません。

（４）追加情報

（会計上の変更及び誤謬の訂正に関する会計基準等の適用）

当第１四半期連結会計期間の期首以後に行われる会計上の変更及び過去の誤謬の訂正より、「会計上の変更及び誤謬の訂正に関する会計基準」（企業会計基準第24号　平成21年12月４日）及び「会計上の変更及び誤謬の訂正に関する会計基準の適用指針」（企業会計基準適用指針第24号　平成21年12月４日）を適用しております。

## ３．四半期連結財務諸表

### （１）四半期連結貸借対照表

（単位：百万円）

| | 前連結会計年度<br>（平成24年１月31日） | 当第１四半期連結会計期間<br>（平成24年４月30日） |
|---|---|---|
| 資産の部 | | |
| 流動資産 | | |
| 現金及び預金 | 6,587 | 7,371 |
| 受取手形及び売掛金 | 12,532 | 15,929 |
| 有価証券 | 445 | 1,408 |
| 商品及び製品 | 8,409 | 9,793 |
| 原材料及び貯蔵品 | 63 | 64 |
| その他 | 2,655 | 3,148 |
| 貸倒引当金 | △83 | △53 |
| 流動資産合計 | 30,611 | 37,662 |
| 固定資産 | | |
| 有形固定資産 | | |
| 建物及び構築物（純額） | 9,673 | 9,975 |
| 土地 | 15,818 | 16,129 |
| その他（純額） | 2,117 | 2,086 |
| 有形固定資産合計 | 27,610 | 28,191 |
| 無形固定資産 | | |
| のれん | 1,819 | 2,720 |
| その他 | 591 | 613 |
| 無形固定資産合計 | 2,410 | 3,333 |
| 投資その他の資産 | | |
| 投資有価証券 | 6,323 | 5,455 |
| 関係会社株式 | 1,264 | 1,230 |
| 敷金 | 4,804 | 4,772 |
| その他 | 2,360 | 2,348 |
| 貸倒引当金 | △312 | △352 |
| 投資その他の資産合計 | 14,439 | 13,454 |
| 固定資産合計 | 44,460 | 44,978 |
| 資産合計 | 75,071 | 82,641 |
| 負債の部 | | |
| 流動負債 | | |
| 支払手形及び買掛金 | 20,873 | 24,720 |
| 短期借入金 | 9,317 | 10,174 |
| 未払法人税等 | 684 | 473 |
| 賞与引当金 | 322 | 854 |
| その他の引当金 | 198 | 191 |
| 資産除去債務 | 11 | 9 |
| その他 | 2,789 | 3,618 |
| 流動負債合計 | 34,197 | 40,043 |

（単位：百万円）

| | 前連結会計年度<br>（平成24年１月31日） | 当第１四半期連結会計期間<br>（平成24年４月30日） |
|---|---|---|
| 固定負債 | | |
| 長期借入金 | 16,578 | 18,150 |
| 引当金 | 177 | 302 |
| 資産除去債務 | 324 | 338 |
| その他 | 1,984 | 1,859 |
| 固定負債合計 | 19,064 | 20,649 |
| 負債合計 | 53,262 | 60,693 |
| 純資産の部 | | |
| 株主資本 | | |
| 資本金 | 5,344 | 5,344 |
| 資本剰余金 | 5,041 | 5,041 |
| 利益剰余金 | 11,480 | 11,543 |
| 自己株式 | △275 | △257 |
| 株主資本合計 | 21,591 | 21,672 |
| その他の包括利益累計額 | | |
| その他有価証券評価差額金 | 192 | 248 |
| 繰延ヘッジ損益 | △54 | △58 |
| その他の包括利益累計額合計 | 137 | 190 |
| 少数株主持分 | 79 | 85 |
| 純資産合計 | 21,808 | 21,948 |
| 負債純資産合計 | 75,071 | 82,641 |

（２）四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書
（四半期連結損益計算書）
（第１四半期連結累計期間）

（単位：百万円）

| | 前第１四半期連結累計期間<br>（自　平成23年２月１日<br>至　平成23年４月30日） | 当第１四半期連結累計期間<br>（自　平成24年２月１日<br>至　平成24年４月30日） |
|---|---|---|
| 売上高 | 44,477 | 48,177 |
| 売上原価 | 35,759 | 39,147 |
| 売上総利益 | 8,718 | 9,029 |
| 販売費及び一般管理費 | 7,957 | 8,413 |
| 営業利益 | 760 | 615 |
| 営業外収益 | | |
| 受取利息 | 27 | 23 |
| 受取配当金 | 4 | 4 |
| 有価証券売却益 | 88 | 98 |
| その他の金融収益 | － | 5 |
| その他 | 38 | 79 |
| 営業外収益合計 | 158 | 211 |
| 営業外費用 | | |
| 支払利息 | 56 | 58 |
| 有価証券売却損 | 0 | 18 |
| 持分法による投資損失 | 9 | 14 |
| その他 | 23 | 47 |
| 営業外費用合計 | 89 | 139 |
| 経常利益 | 829 | 688 |
| 特別利益 | | |
| 固定資産売却益 | 0 | 0 |
| その他 | 7 | 8 |
| 特別利益合計 | 7 | 9 |
| 特別損失 | | |
| 固定資産売却損 | － | 2 |
| 固定資産除却損 | 21 | 17 |
| 投資有価証券評価損 | 43 | 4 |
| その他 | 17 | 15 |
| 特別損失合計 | 82 | 40 |
| 税金等調整前四半期純利益 | 754 | 656 |
| 法人税等 | 377 | 313 |
| 少数株主損益調整前四半期純利益 | 376 | 342 |
| 少数株主利益 | 3 | 5 |
| 四半期純利益 | 373 | 337 |

（四半期連結包括利益計算書）
（第１四半期連結累計期間）

（単位：百万円）

| | 前第１四半期連結累計期間<br>（自　平成23年２月１日<br>至　平成23年４月30日） | 当第１四半期連結累計期間<br>（自　平成24年２月１日<br>至　平成24年４月30日） |
|---|---|---|
| 少数株主損益調整前四半期純利益 | 376 | 342 |
| その他の包括利益 | | |
| その他有価証券評価差額金 | △124 | 56 |
| 繰延ヘッジ損益 | △8 | △3 |
| その他の包括利益合計 | △133 | 52 |
| 四半期包括利益 | 243 | 395 |
| （内訳） | | |
| 親会社株主に係る四半期包括利益 | 240 | 389 |
| 少数株主に係る四半期包括利益 | 3 | 5 |

（３）継続企業の前提に関する注記
該当事項はありません。

（４）セグメント情報等
Ⅰ．前第１四半期連結累計期間（自　平成23年２月１日　至　平成23年４月30日）
１．報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

（単位：百万円）

| | 報告セグメント | | | | | 調整額（注） | 四半期連結財務諸表計上額 |
|---|---|---|---|---|---|---|---|
| | ディストリビューター事業 | キャッシュアンドキャリー事業 | 食品スーパー事業 | その他事業 | 合計 | | |
| 売上高 | | | | | | | |
| 外部顧客への売上高 | 27,655 | 9,473 | 6,507 | 841 | 44,477 | － | 44,477 |
| セグメント間の内部売上高又は振替高 | 570 | 0 | － | 1,158 | 1,730 | △1,730 | － |
| 計 | 28,225 | 9,474 | 6,507 | 2,000 | 46,207 | △1,730 | 44,477 |
| セグメント利益 | 157 | 260 | 86 | 255 | 760 | － | 760 |

（注）セグメント間の内部売上高又は振替高の調整額△1,730百万円は、セグメント間取引消去額であります。また、セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と一致しております。

２．報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報
該当事項はありません。

Ⅱ．当第１四半期連結累計期間（自　平成24年２月１日　至　平成24年４月30日）
１．報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

（単位：百万円）

| | 報告セグメント | | | | | 調整額（注）２ | 四半期連結財務諸表計上額 |
|---|---|---|---|---|---|---|---|
| | ディストリビューター事業 | キャッシュアンドキャリー事業 | 食品スーパー事業 | その他事業 | 合計 | | |
| 売上高 | | | | | | | |
| 外部顧客への売上高 | 31,787 | 9,305 | 6,437 | 647 | 48,177 | － | 48,177 |
| セグメント間の内部売上高又は振替高（注）１ | 16,829 | 20 | － | 1,530 | 18,380 | △18,380 | － |
| 計 | 48,617 | 9,325 | 6,437 | 2,177 | 66,557 | △18,380 | 48,177 |
| セグメント利益 | 275 | 193 | 40 | 105 | 615 | － | 615 |

（注）１．報告セグメント内の内部取引を含んでおります。
２．セグメント間の内部売上高又は振替高の調整額△18,380百万円は、セグメント内及びセグメント間取引消去額であります。また、セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と一致しております。

２．報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報
（のれんの金額の重要な変動）
「ディストリビューター事業」セグメントにおいて、当第１四半期連結累計期間に株式取得により河原食品㈱及び㈱藤代商店を100％子会社化したことに伴い、979百万円ののれんを計上しております。

（５）株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記
該当事項はありません。